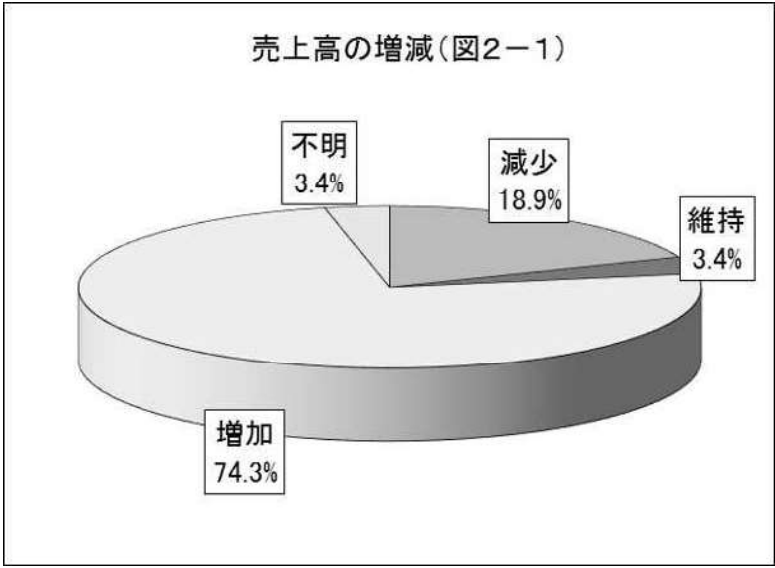


2 営業成績の状況

(1) 売上高の増減

仲卸業者全体のうち、74.3%の業者が前期に比べ売上高が増加した。一方で、18.9%の業者が売上高を減少させている。前年と比べると、増加した業者の割合は7.9ポイント上昇し、減少した業者の割合は6.1ポイント下降した。

※ 前年調査 増加66.4%、維持6.2%、減少25.0%、不明2.4%



取扱品目別にみると、全ての品目において売上高が増加した業者数が減少した業者数を上回った。

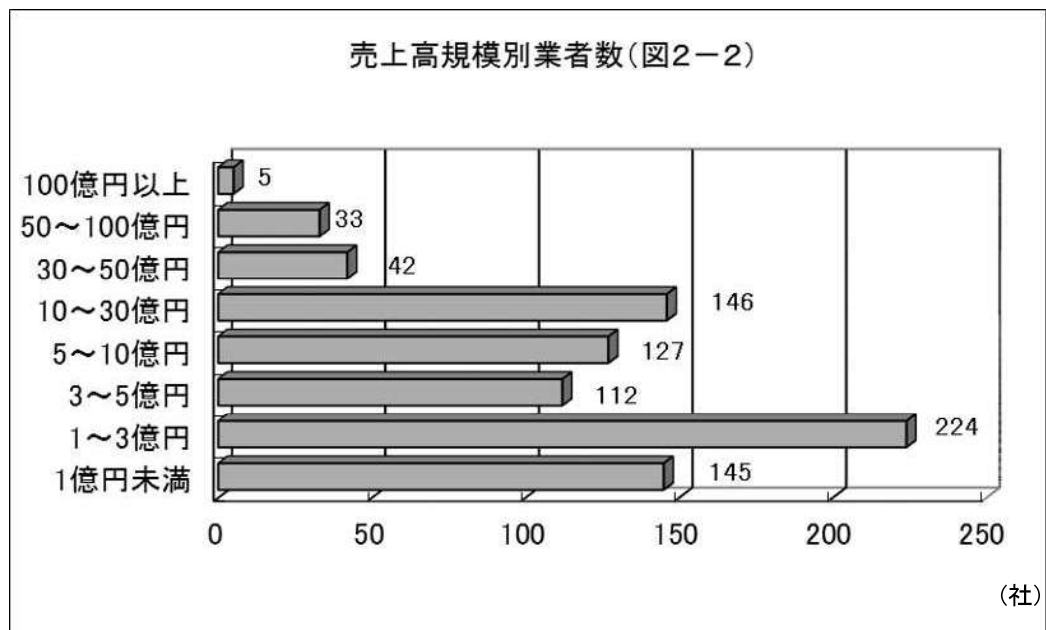
取扱品目別・売上高の増減(表2-1)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	74.3%	3.4%	18.9%	3.4%
水 産 物	84.8%	1.8%	10.7%	2.7%
青 果 物	59.4%	4.9%	30.4%	5.2%
花 き	56.8%	10.8%	32.4%	0.0%
食 肉	66.7%	4.2%	29.2%	0.0%

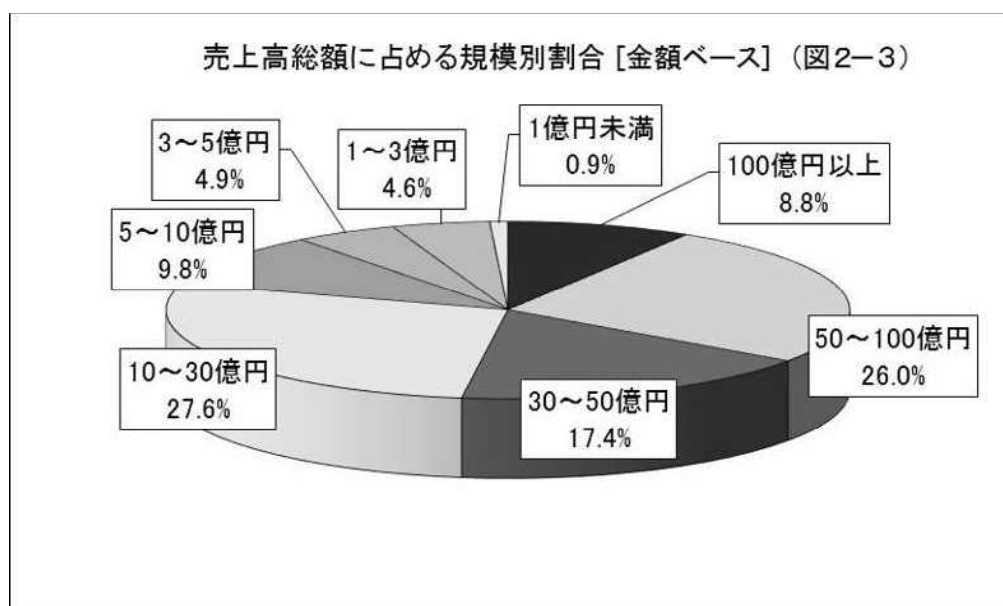
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(2) 売上高の規模別業者数

仲卸業者全体のうち、売上高1億円以上3億円未満の業者が最も多い。また、売上高が3億円未満の業者で全体の44.2%(369社)を占めている。



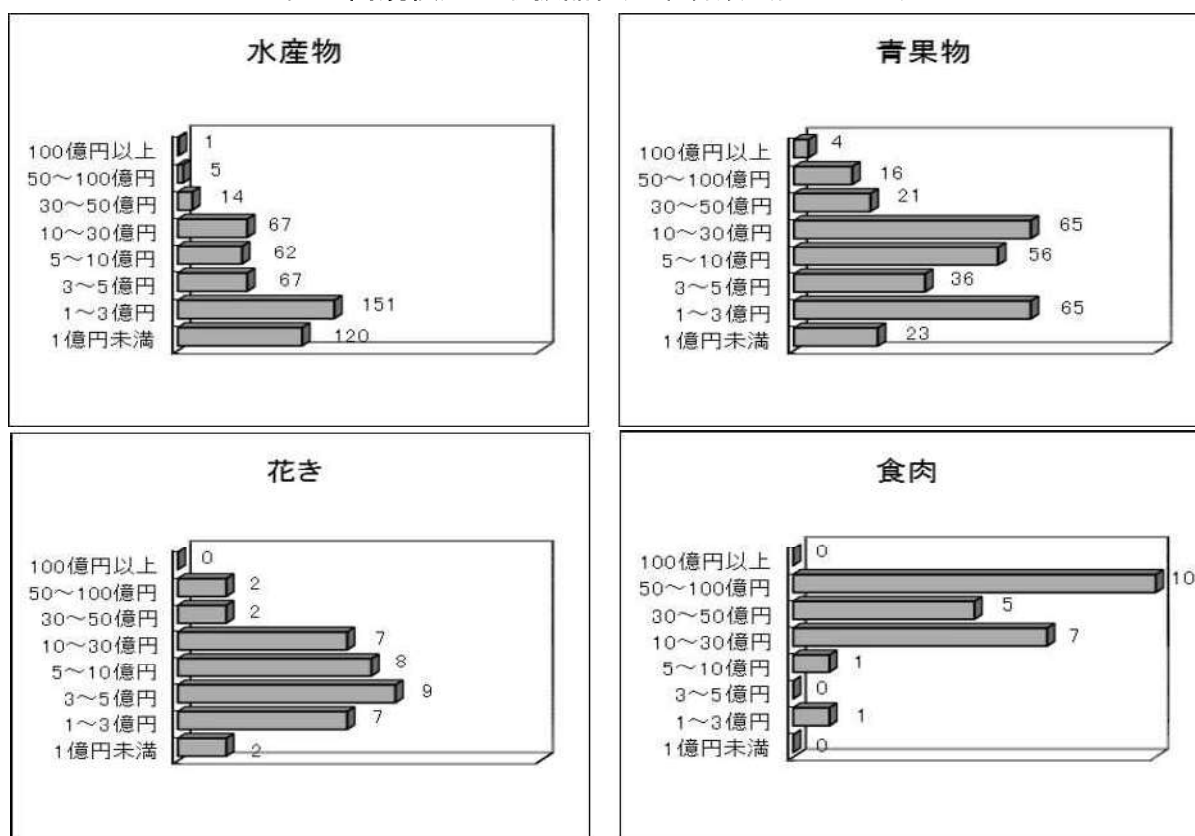
金額ベースにした売上高総額に占める規模別割合でみると、半数近くを占める売上高3億円未満の業者のシェアは5.5%に留まっている。



(3) 売上高の規模別・取扱品目別業者数

取扱品目別にみると、水産物では売上高1億円以上3億円未満の層が、青果物では1億円以上3億円未満及び10億円以上30億円未満の層が、花きでは3億円以上5億円未満の層が、食肉では50億円以上100億円未満の層が最も多くなっている。

売上高規模別・取扱品目別業者数（図2-4）



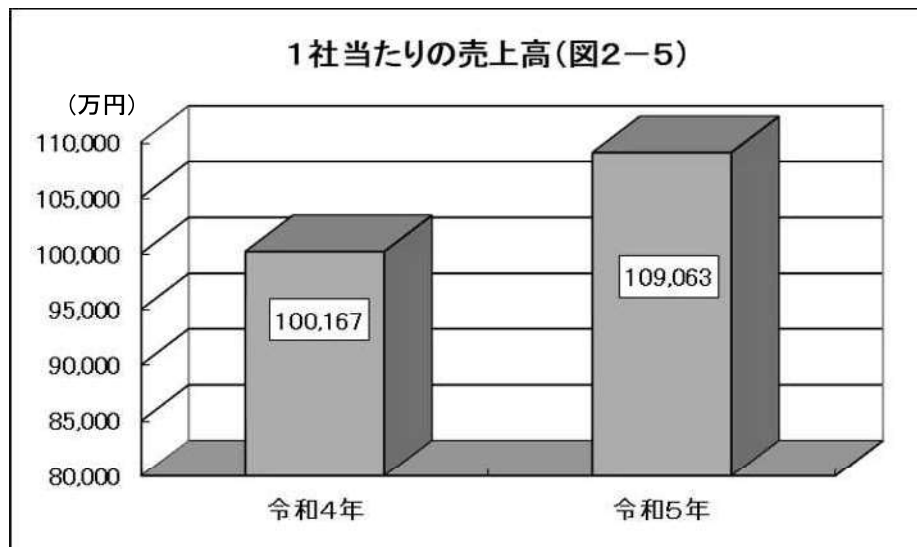
売上高規模別・取扱品目別業者数（表2-2）

単位：社

	全 体	水 産 物	青 果 物	花 き	食 肉
100億円以上	5 (0.6%)	1 (0.2%)	4 (1.4%)	0 (—)	0 (—)
50～100億円	33 (4.0%)	5 (1.0%)	16 (5.6%)	2 (5.4%)	10 (41.7%)
30～50億円	42 (5.0%)	14 (2.9%)	21 (7.3%)	2 (5.4%)	5 (20.8%)
10～30億円	146 (17.5%)	67 (13.8%)	65 (22.7%)	7 (18.9%)	7 (29.2%)
5～10億円	127 (15.2%)	62 (12.7%)	56 (19.6%)	8 (21.6%)	1 (4.2%)
3～5億円	112 (13.4%)	67 (13.8%)	36 (12.6%)	9 (24.3%)	0 (—)
1～3億円	224 (26.9%)	151 (31.0%)	65 (22.7%)	7 (18.9%)	1 (4.2%)
1億円未満	145 (17.4%)	120 (24.6%)	23 (8.0%)	2 (5.4%)	0 (—)
合 計	834	487	286	37	24

(4) 1社当たりの売上高

仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の10億167万円から10億9,063万円と、8,896万円(8.9%)増加した。



取扱品目別にみると、前年に比べ、全ての品目において、増加した。

1社当たりの売上高(表2-3)

	令和4年	令和5年	対前年比
全 体	100,167 万円	109,063 万円	108.9%
水 産 物	53,195 万円	63,741 万円	119.8%
青 果 物	155,806 万円	159,353 万円	102.3%
花 き	101,558 万円	108,433 万円	106.8%
食 肉	403,728 万円	430,413 万円	106.6%

(5) 売上総利益率の変化

売上総利益率(いわゆる粗利益率)は、全体では前年に比べ0.57ポイント上昇した。取扱品目別にみると、水産物、青果物及び食肉では上昇し、花きでは下降した。

売上総利益率(表2-4)

	令和4年	令和5年
全 体	13.21%	13.78%
水 産 物	14.41%	14.91%
青 果 物	13.49%	13.97%
花 き	18.39%	18.10%
食 肉	6.57%	7.83%

売上総利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、全体では上昇した業者数が下降した業者数を上回った。取扱品目別では、青果物、花き及び食肉では上昇した業者数が下降した業者数を上回り、水産物では下降した業者数が上昇した業者数を上回った。

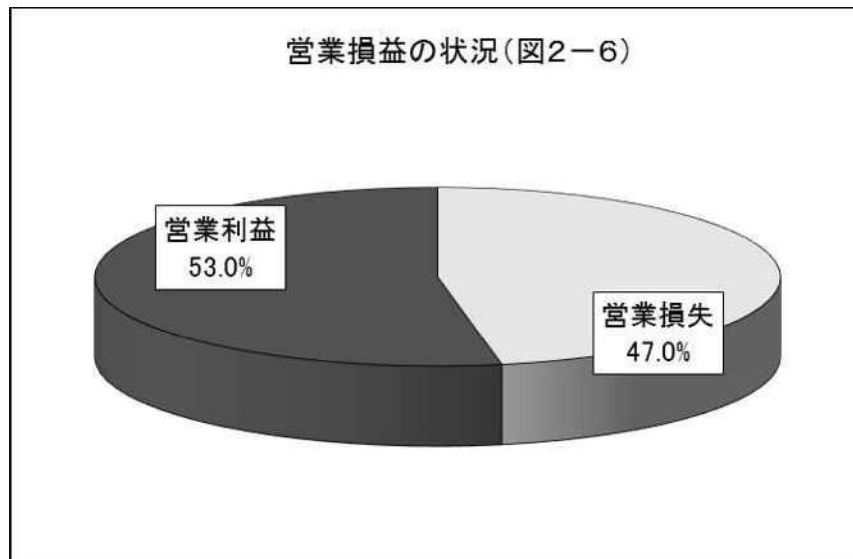
売上総利益率の変化(表2-5)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	49.3%	47.4%	3.4%
水 産 物	45.0%	52.4%	2.7%
青 果 物	53.5%	41.3%	5.2%
花 き	51.4%	48.6%	0.0%
食 肉	83.3%	16.7%	0.0%

(6) 営業損益の状況

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が53.0%、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が47.0%となり、前年に比べ黒字となった業者の割合が増加した。

※ 前年調査 黒字:赤字 = 33.3% : 66.7%



取扱品目別にみると、青果物、花き及び食肉では半数以上の業者が黒字となり、水産物では半数以上の業者が赤字となった。

営業損益の状況(表2-6)

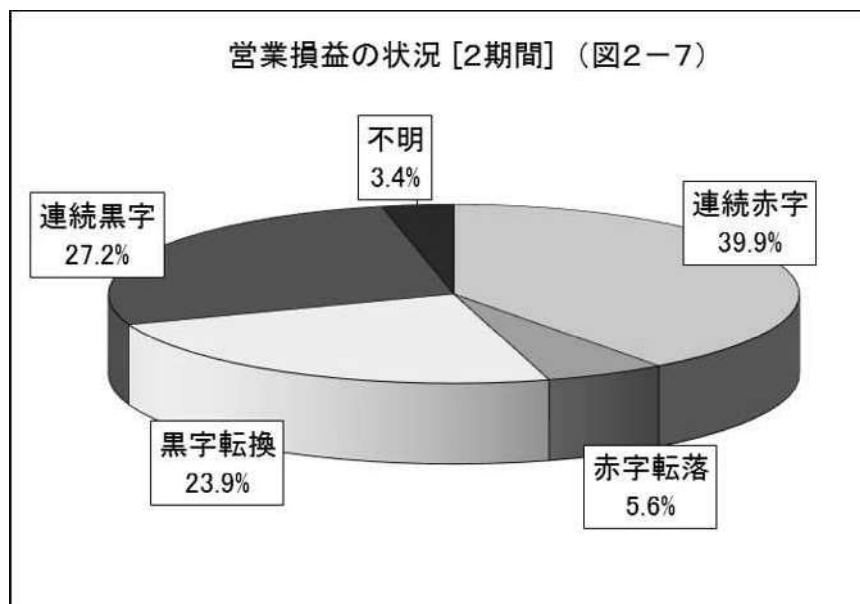
() 内は前年調査の数値

	営業利益 [黒字業者]	営業損失 [赤字業者]
全 体	53.0% (33.3%)	47.0% (66.7%)
水 産 物	48.3% (25.1%)	51.7% (74.9%)
青 果 物	60.1% (44.8%)	39.9% (55.2%)
花 き	54.1% (50.0%)	45.9% (50.0%)
食 肉	62.5% (41.7%)	37.5% (58.3%)

(7) 営業損益の状況(2期間)

営業損益が2期連続して黒字計上となった業者は27.2%、2期連続して赤字計上となった業者は39.9%となった。黒字に転換した業者は23.9%、赤字に転落した業者は5.6%となった。

※ 前年調査 連続黒字16.4%、黒字転換16.6%、赤字転落7.6%、連続赤字57.1%、不明2.4%



取扱品目別にみると、2期連続して黒字となった業者の割合は、花きが最も多かった。黒字に転換した業者の割合は食肉が最も多く、赤字に転落した業者の割合は花きが最も多かった。また、2期連続して赤字となった業者の割合は、水産物が最も多かった。

営業損益の状況(2期間)(表2-7)

()内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全 体	27.2% (16.4%)	23.9% (16.6%)	5.6% (7.6%)	39.9% (57.1%)	3.4% (2.4%)
水 産 物	22.0% (10.5%)	25.3% (14.5%)	3.3% (6.1%)	46.8% (67.1%)	2.7% (1.8%)
青 果 物	34.6% (24.1%)	21.7% (19.6%)	8.0% (7.3%)	30.4% (45.5%)	5.2% (3.5%)
花 き	35.1% (23.7%)	18.9% (26.3%)	16.2% (15.8%)	29.7% (31.6%)	0.0% (2.6%)
食 肉	33.3% (33.3%)	29.2% (8.3%)	8.3% (29.2%)	29.2% (29.2%)	0.0% (0.0%)

(8) 営業利益率の変化

営業利益率は、全体では前年に比べ上昇し、黒字転換した。取扱品目別にみると、全ての品目において上昇し、水産物及び食肉では黒字転換した。

営業利益率(表2-8)

	令和4年	令和5年
全 体	△0.21%	0.70%
水 産 物	△1.14%	0.50%
青 果 物	0.41%	0.88%
花 き	0.26%	0.41%
食 肉	△0.74%	0.57%

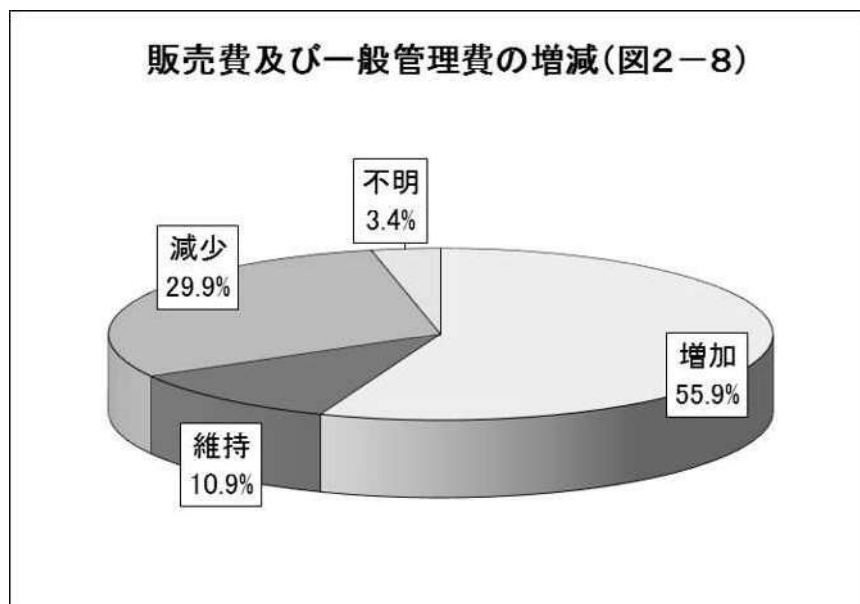
営業利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目において上昇した業者数が半数を超えた。

営業利益率の変化(表2-9)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	72.7%	24.0%	3.4%
水 産 物	80.7%	16.6%	2.7%
青 果 物	60.5%	34.3%	5.2%
花 き	54.1%	45.9%	0.0%
食 肉	83.3%	16.7%	0.0%

(9) 販売費及び一般管理費の増減

販売費及び一般管理費（以下、「販管費」という。）が増加した業者は55.9%、減少した業者は29.9%となった。



取扱品目別にみると、全ての品目において増加した業者数が減少した業者数を上回った。

販売費及び一般管理費の増減(表2-10)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	55.9%	10.9%	29.9%	3.4%
水 産 物	57.1%	10.7%	29.6%	2.7%
青 果 物	53.1%	10.8%	30.8%	5.2%
花 き	54.1%	10.8%	35.1%	0.0%
食 肉	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%

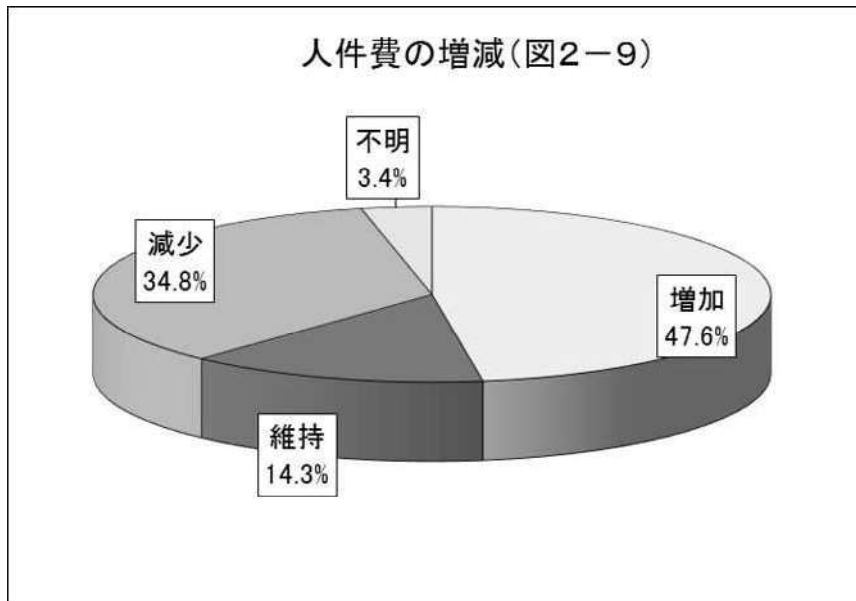
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(10) 人件費の増減

人件費(注)が増加した業者は47.6%、減少した業者は34.8%、維持した業者は14.3%となり、増加した業者が減少した業者を上回った。

(注) 人件費 役員報酬、給与手当、福利厚生費、退職共済掛金 等

※ 前年調査 増加37.2%、減少44.1%、維持16.3%、不明2.4%



取扱品目別にみると、水産物及び青果物では人件費が増加した業者数が減少した業者数を上回った。また、花きでは減少した業者数が増加した業者数を上回り、食肉では増加した業者数と減少した業者数が同数であった。

人件費の増減(表2-11)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	47.6%	14.3%	34.8%	3.4%
水 産 物	45.4%	17.2%	34.7%	2.7%
青 果 物	52.1%	10.5%	32.2%	5.2%
花 き	43.2%	8.1%	48.6%	0.0%
食 肉	45.8%	8.3%	45.8%	0.0%

※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(11) 人件費比率の変化

売上高対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。取扱品目別にみると、水産物、花き及び食肉では下降し、青果物では上昇した。

売上高対人件費比率(表2-12)

	令和4年	令和5年
全 体	6.63%	6.40%
水 産 物	8.75%	7.81%
青 果 物	5.89%	6.00%
花 き	9.61%	9.02%
食 肉	3.14%	2.91%

売上総利益対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。取扱品目別にみると、全ての品目において下降した。

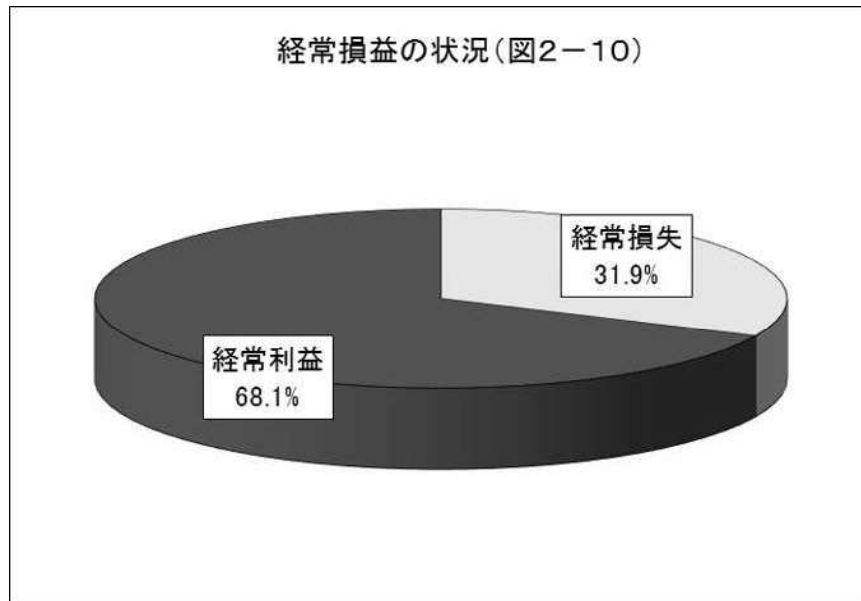
売上総利益対人件費比率(表2-13)

	令和4年	令和5年
全 体	50.23%	46.43%
水 産 物	60.71%	52.36%
青 果 物	43.63%	42.92%
花 き	52.29%	49.83%
食 肉	47.81%	37.13%

(12) 経常損益の状況

経常利益(黒字)を計上した業者の割合は68.1%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合は31.9%と、前年に比べ黒字業者の割合が15.8ポイント上昇した。

※ 前年調査 黒字:赤字 = 52.3% : 47.7%



前年と比較すると、全ての品目において黒字業者の割合が増加した。

経常損益の状況(表2-14)

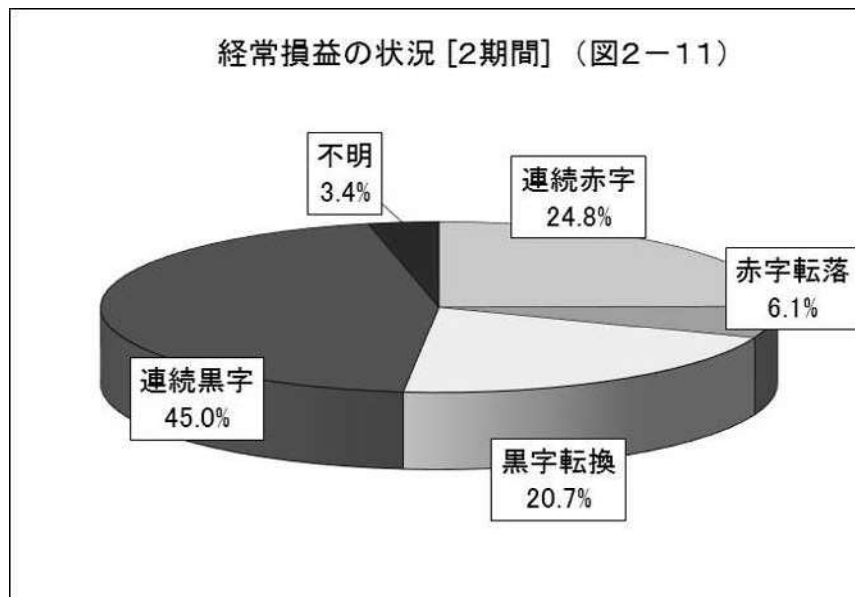
() 内は前年調査の数値

	経常利益 [黒字業者]	経常損失 [赤字業者]
全 体	68.1% (52.3%)	31.9% (47.7%)
水 産 物	62.0% (44.0%)	38.0% (56.0%)
青 果 物	76.9% (62.6%)	23.1% (37.4%)
花 き	67.6% (63.2%)	32.4% (36.8%)
食 肉	87.5% (83.3%)	12.5% (16.7%)

(13) 経常損益の状況(2期間)

経常損益が2期連続して黒字計上となった業者は45.0%となり、前年に比べると上昇した。2期連続して赤字計上となった業者は24.8%となり、前年に比べると下降した。また、黒字に転換した業者の割合は20.7%、赤字に転落した業者の割合は6.1%となった。

※ 前年調査 連続黒字34.4%、黒字転換17.0%、赤字転落9.5%、連続赤字36.8%、不明2.4%



取扱品目別にみると、2期連続して黒字となった業者の割合は、食肉が最も多かった。黒字に転換した業者の割合は水産物が最も多く、赤字に転落した業者の割合は花きが最も多かった。また、2期連続して赤字となった業者の割合は、水産物が最も多かった。

経常損益の状況(2期間)(表2-15)

() 内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全 体	45.0% (34.4%)	20.7% (17.0%)	6.1% (9.5%)	24.8% (36.8%)	3.4% (2.4%)
水 産 物	37.4% (25.1%)	23.0% (18.4%)	6.0% (10.5%)	31.0% (44.2%)	2.7% (1.8%)
青 果 物	54.5% (46.5%)	18.2% (14.3%)	5.2% (6.3%)	16.8% (29.4%)	5.2% (3.5%)
花 き	51.4% (39.5%)	16.2% (23.7%)	13.5% (18.4%)	18.9% (15.8%)	0.0% (2.6%)
食 肉	75.0% (75.0%)	12.5% (8.3%)	8.3% (12.5%)	4.2% (4.2%)	0.0% (0.0%)

(14) 経常利益率の変化

経常利益率は、全体では1.28%と前年を上回った。取扱品目別にみると、水産物、青果物及び食肉では上昇し、花きでは下降した。

経常利益率(表2-16)

	令和4年	令和5年
全 体	0.59%	1.28%
水 産 物	0.08%	1.30%
青 果 物	0.86%	1.29%
花 き	0.66%	0.46%
食 肉	0.71%	1.49%

経常利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を取扱品目別にみると、水産物、青果物及び食肉では上昇した業者数が下降した業者数を上回り、花きでは下降した業者数が上昇した業者数を上回った。

経常利益率の変化(表2-17)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	63.3%	33.3%	3.4%
水 産 物	68.8%	28.5%	2.7%
青 果 物	55.2%	39.5%	5.2%
花 き	45.9%	54.1%	0.0%
食 肉	75.0%	25.0%	0.0%

(15) 従事員1人当たり売上高

従事員1人当たり売上高は、全体では前年に比べ増加した。取扱品目別にみると、全ての品目において増加した。

従事員1人当たり売上高(表2-18)

	令和4年	令和5年
全 体	7,988 万円	8,601 万円
水 産 物	5,993 万円	6,934 万円
青 果 物	9,552 万円	9,837 万円
花 き	3,898 万円	4,268 万円
食 肉	18,562 万円	19,676 万円

従事員1人当たり売上高が増加した業者数と減少した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目において増加した業者数が減少した業者数を上回った。

従事員1人当たり売上高の増減(表2-19)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	75.2%	21.5%	3.4%
水 産 物	84.6%	12.7%	2.7%
青 果 物	60.1%	34.6%	5.2%
花 き	70.3%	29.7%	0.0%
食 肉	70.8%	29.2%	0.0%

(16) 従事員1人当たり売上総利益

従事員1人当たり売上総利益は、全体では前年に比べ増加した。取扱品目別にみると、全ての品目において増加した。

従事員1人当たり売上総利益(表2-20)

	令和4年	令和5年
全 体	1,055 万円	1,185 万円
水 産 物	864 万円	1,034 万円
青 果 物	1,289 万円	1,375 万円
花 き	717 万円	772 万円
食 肉	1,220 万円	1,541 万円

従事員1人当たり売上総利益が増加した業者数と減少した業者数の割合を取扱品目別にみると、全ての品目において増加した業者数が減少した業者数を上回った。

従事員1人当たり売上総利益の増減(表2-21)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	73.0%	23.6%	3.4%
水 産 物	79.3%	18.1%	2.7%
青 果 物	61.5%	33.2%	5.2%
花 き	64.9%	35.1%	0.0%
食 肉	95.8%	4.2%	0.0%

(17) 従事員1人当たり人件費

従事員1人当たり人件費は、全体では前年に比べ増加した。取扱品目別にみると、水産物、青果物及び花きでは増加し、食肉では減少した。

従事員1人当たり人件費(表2-22)

	令和4年	令和5年
全 体	530 万円	550 万円
水 産 物	524 万円	541 万円
青 果 物	562 万円	590 万円
花 き	375 万円	385 万円
食 肉	583 万円	572 万円

従事員1人当たり人件費が増加した業者数と減少した業者数の割合を取扱品目別にみると、水産物及び青果物では増加した業者数が減少した業者数を上回り、花きでは減少した業者数が増加した業者数を上回った。また、食肉では増加した業者数と減少した業者数が同数であった。

従事員1人当たり人件費の増減(表2-23)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	51.2%	45.4%	3.4%
水 産 物	53.0%	44.4%	2.7%
青 果 物	49.3%	45.5%	5.2%
花 き	43.2%	56.8%	0.0%
食 肉	50.0%	50.0%	0.0%